

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	福祉	科目	介護福祉基礎	単位数	2	学年・学科	2学年・D科(選択)
教科書	実教出版「介護福祉基礎」		副教材				

学習目標	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援の観点にもとづき、自己実現が達成されるよう適切な介護福祉サービスを提供できる能力と態度を育てます。
------	---

学習方法	介護を行ううえで必要な、深い理解を伴った知識・技術を習得します。 学びあう活動をととして、自分の考えを表現することでより定着できるように取り組みます。
------	--

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	60%	40%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
			中期	思考・判断・表現	30%	15%	15%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%
	b 思考・判断・表現	介護に関する諸問題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
			中期	思考・判断・表現	30%	15%	15%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%
c 主体的に学習に取り組む態度	よりよい介護を目指して自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%	
		中期	思考・判断・表現	30%	15%	15%	
		後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	尊厳を支える介護	介護の意義や役割を理解し、生活の質を高める介護について考えます。	○			尊厳のある介護、自己決定の支援について理解し、自分の考えをまとめることができる。	ワークシート 行動観察 審査
	介護従事者の倫理	利用者の尊厳維持のために必要な倫理観を学び、実践方法について学びます。	○	○	○	プライバシーの保護について理解し、正しい判断をすることができる。	
	自立に向けた支援	ICFモデルへの改定が行われた背景を理解し、QOLを高める方法や虐待防止策について考察します。	○	○	○	自立支援について理解し、正しい知識を身につけている。	
前期末	介護従事者を取りまく状況	介護保険制度が始まった社会の背景について学びます。	○			介護の歴史と現状を理解し、正しい知識を身につけている。	ワークシート グループワーク 行動観察 審査
	障害者の生活と支援	社会状況などによって障害の概念が変化していることを理解し、社会の環境を整えるための具体的な支援の方法を学びます。	○	○	○	障害者の人権と生活と支援について理解し、課題を取り上げて考えることができる。	
	介護を必要とする人の生活を支える支援	観察することの意義を理解し、場面に応じた観察するべきポイントを学びます。コミュニケーション、信頼関係の構築に必要な支援の方法を学びます。	○	○	○	観察の技術を理解し、正しい知識を身につけている。 コミュニケーションに関する諸課題を発見し、技術を身につけようとしている。	
後期中間	介護従事者の役割	利用者にとってよりよい介護の場を実現するために、多様な職種がかかわることの必要性について学びます。	○	○		介護の役割や専門性を理解し、正しい知識を身につけている。	ワークシート グループワーク 行動観察 審査
	介護福祉サービスの概要	利用者が自分らしく生きるための支援や家族への援助など、専門職としてのかかわり方について学びます。 介護保険制度の目的を理解し、ケアマネジメント業務や利用できるサービスを学びます。	○	○	○	介護従事者の役割について考えることができる。 介護福祉サービスについて理解し、正しい知識を身につけている。	
後期末	安全と事故対策	リスクが生じやすい場面やその対応やリスクマネジメントについて学びます。	○	○	○	介護現場における諸課題を発見し、解決方法を考えることができる。	ワークシート グループワーク 行動観察 審査
	介護従事者の健康管理	介護従事者の健康管理が介護の質にかかわることを理解し、健康管理の重要性を学びます。	○			健康管理の重要性を理解し、正しい知識を身につけている。	
	福祉用具と介護ロボット	福祉用具について学び、活用することでどのような影響があるか考察します。	○	○	○	福祉用具のメリット・デメリットを理解し、今後の活用について考えることができる。	